

28 患者の体調に関する意識付け調査

— 患者・家族が体調表を使用して —

飯田市立病院腎センター 久保田みゆき、野牧敬子、川島好子、

佐藤なをみ、仲田美智子、木下富喜子

【はじめに】

透析人口の高齢化や透析期間の長期化が進み、様々な合併症を抱えている。当院では午前透析患者は26名で、平均年齢65歳と全国平均年齢から見ると低い。合併症を伴う患者は62%と多い。今年、透析日の朝、患者が、歩行できない状態を、家族が把握できないまま透析室へ来院し、即入院となった症例があった。松原は「透析患者が緊急来院しない因子として①患者自身の症状認識の甘さ②家族に対して自分の病気や送迎での気兼ね等を上げ、患者や家族の心理的影響や役割を配慮しながら、早急な来院を指導していく必要が示唆された」¹⁾と述べている。そこで患者自身の体調に注目することで、異常の早期発見につながり、早急に来院をしてもらうために、体調表を作成し実施した。

【目的】

1. 体調表を使用する事で、自分の体調が判る。
2. 家族が患者と体調表を共有する事で、患者の体調に関心を持ち、状態が把握できる。

【用語の定義】

体調表—患者の体調把握のためのチェック表(脳血管疾患、心疾患、心不全の主症状、出血傾向、をもとに当院独自で作成)16項目についてチェックする。緊急時の受診方法記載。(資料1)

【対象及び方法】

対象—午前外来透析患者21名

方法—体調表作成、使用。患者と家族にアンケート調査。

【結果】

体調表を使用しての患者と家族の結果は殆ど同じ回答で「良かった」が多かった。(表1)この内訳は表3通りで、その他の意見として「注意しなくてはいけない所が再確認する事ができた」「わかりやすくて助かった」であった。「悪かった」との回答結果は50代の女性であった。(表1)その他の項目で、40~50代の主婦から「朝自分自身も忙しく又、家族にチェックしてもらえる時間帯になると家族はいないので、タイミングを逃してしまう」「家族に負担をかけたくない」という意見があった。

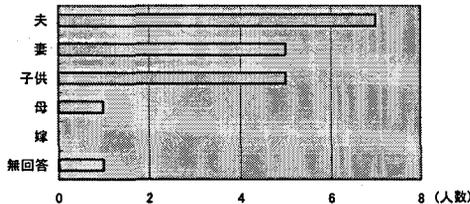
表1 体調表を使用して

	患者	家族
良かった	11	8
悪かった	1	1
どちらでもない	1	2
無回答	1	0

体調表の調査中、来院時に「体調表を家族と確認してきたか」毎回聴取を行った。(表4)患者本人は平均してチェックができていくが、家族は後半になってくると一緒に見る人は減ってきている。アンケートの中でも家族に相談できない時の理由として「自分の体調に問題がなかったので相談しなかった」8名「家族が居なかった」4名「相談するタイミングを逃してしまった」3名であった。体調表を見られる人は夫、妻、子供が多く(表2)朝の忙しさのなかでは、体調表の項目全てを家族に問うのは困難な面がある。患者からは、「なかなか自分のことは嫁には言えない」「体調に変わったことがなければ毎日は見てもらえない」との言葉が聞かれる。当院の

かなか自分のことは嫁には言えない」「体調に変わったことがなければ毎日は見てもらえない」との言葉が聞かれる。当院の透析患者で、現在二人暮らしの患者は夜間を含め16名いる。40～50代の主婦からは「今は自分の事は自分でできるので、家族に負担をかけたくない、年をとってきたら家族にも指導してもらえると良い」と意見があった。

表2 体調表を一緒に見た人はどなたですか



【考察】

体調表を使用して良かったとの意見から、家族と共に患者の体に関心をもつきっかけができた。そして体調表で項目をあげた事で今後予想される合併症の早期発見につながっていくと考えられる。幸い調査中には緊急を要する症例はなかったが、体調表に、異常時の受診方法を表示した事で患者からも直接「何かあった時は紙に書いてあったのでわかります」との声も聞かれ、異常時の対応も今後スムーズに行えると思う。引き続き受診方法を確認し指導していきたい。

50代の主婦の意見では、「朝自分自身も忙しく又、家族にチェックしてもらえる時間帯になると家族はいないので、タイミングを逃してしまう」との言葉から、朝の忙しい時間の中で自分の体を意識する習慣を生活に組み入れていく事が今後異常の早期発見につながると考える。また、40代の主婦からは、「今は、自分の事は自分でできているので、家族に負担をかけたくない、年をとってきたら家族にも指導してもらえると良い」との意見があった。松原の先行研究でも家族への気兼ねを述べていることから、この様な言葉が聞かれると思われる。そして、体調表を使用してよかったという回答が多かった事から、今後は家族にも合併症の危険性を理解してもらい、体調表を持続・共有できるよう指導をしていきたい。

現在、後遺症でマヒが残り、ヘルパーの協力を得ている患者がいる。この患者は今年、透析日の朝「足が動かなくて転んだ」と夫が車椅子に乗せ、いつもより1時間ほど遅く来院された。診察の結果脳出血と診断、即入院した症例であった。この家族のアンケートは無回答で、患者より「お父さんは何もできんの。見てくれん。」との言葉がきかれ、家族の関わりがない事がわかった。今後福祉サービスの方たちを巻き込みながら体調表を用いた情報交換を行っていく必要がある。

また、仕事を持ち夜間透析を行い自己管理ができている患者は、現在家族の協力が少なくても良いが、長期透析や、高齢に伴い合併症後遺症など症例は増加すると予測される。今後、個々の患者に対して、私たちスタッフが家族に介入する時期を見極め、家族に対して患者に注目し関心を持ってもらう指導も必要である。

今回の研究では、体調表を使用した事で家族背景や患者に対しての関わり方などがわかった。そして今後私たちが検討していかなければならない課題もあがった。

1. 体調表の内容検討、患者家族の状態に合わせた使用法の検討。
2. 社会生活が自立している患者家族への今後の指導方法。
(夜間透析患者への使用)
3. 2人暮らしや、福祉サービスを利用する患者への使用方法の検討。

【結語】

- ・合併症を抱えている透析患者には、体調表を使用する事で、日頃の体調を把握することができる。
- ・家族にも患者の体調に関心を持ってもらう事で同じレベルで体調が把握できる。

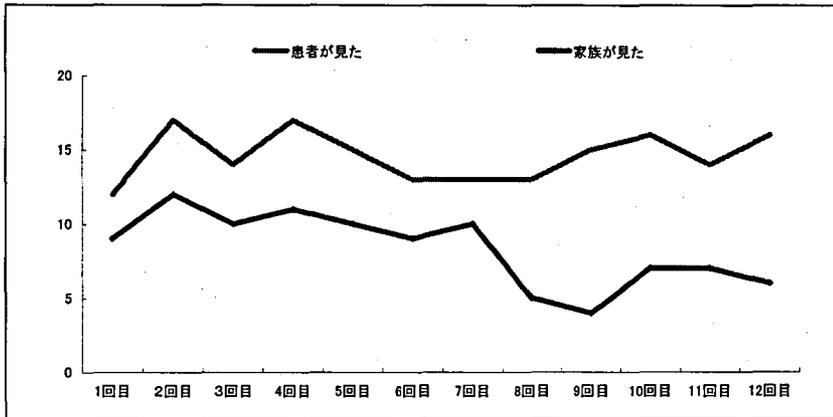
【参考・引用文献】

- 1) 松原真奈美：維持透析患者の緊急来院について～患者認識と家族の関係調査から～
第46回(社)日本透析医学会学術集会・総会特別号 日本透析医学会雑誌
34号 p486
演題番号(O686) JUN supplement. 1, 2001

表3 アンケート内訳
配布21名回収18名複数回答

体調表を使用してよかったのはどういう時ですか？	患者様	家族
体の事で注目しなければいけない症状がわかった	10	12
透析の朝、自分の体の事について注目できた	8	8
看護師に伝えたい症状が正確に伝えられた	6	5
家の方と自分の体の事について話し合いができた	7	10
家の方が自分の体の事に注目してくれたと感じた	6	/
体調表を使用して悪かったのはなぜですか？(どちらでもない含む)	/	/
わかっている症状なので、そのつど見る必要がない	1	0
体調も良く症状がないから	1	1
忙しい	2	2
忘れてしまう	2	1
めんどうだから	1	0

表4 患者及び家族が体調表をチェックしてきた日別結果



資料1

体調表

おはようございます。今日の体調はいかがですか？

おうちの方から見てはいかがでしょうか、いつもと何か違いはありませんか？

①顔色はどうですか？
 ②体に熱れた時熱くないですか？
 ③いつもと同じ様に動けて、話せていますか？
 ④どこか出血している所はありませんか？
 (ケガ・便・尿・鼻・汗・歯ぐき・脚)

注意欄の上からチェックしていきましょう

⑤吐き気はありませんか？
 ⑥いつもと同じ様に食べる事ができましたか？

⑦血圧はどうですか？
 (/) mmHg

⑧シャツの着は間違っていますか？

⑨どこかケガ等していませんか？

⑩頭は痛くないですか？
 ⑪熱はないですか？

⑫胸は痛くありませんか？
 ⑬ドキドキしませんか？
 ⑭胸が苦しいような感じはありませんか？
 ⑮お腹は痛くありませんか？
 ⑯便秘、できましたか？
 (普通・下痢・硬い)

⑰便は黒くありませんか？
 ⑱尿は赤くありませんか？
 ⑲いつもより、むくみは強くないですか？
 ⑳いつもと同じように動けますか？

お読み

どこか体の調子が悪くて心配であれば、時間外受付へ電話をして状態を詳しく相談して下さい。様子が見られる様であれば、8時30分に直営透析室にお越し頂き看護師に相談して下さい。

透析日でない時は、症状があれば、外来受診手続きをして受診してください。その際、透析していることを伝えて下さい。

豊田市立病院 21-1255